

☆どうされていますか??教えてください!!☆

子どもたちの発表の声、小さくて聴こえないことがあります。写真は、新田学級です。教室後方が、発表しました。それに対して、体を向けて聴く子どもたち。ステキですね。でも声が、聴こえません。すると新田先生は、写真のように手を耳に当てて大きな声で話すように促していました。私は、「聴こえない。もう一回」なんて冷たい対応をしてしまうなあと反省でした。新田先生のあたたかい対応があるから、安心して話がができるのですよね。今回は、そんな新田先生に「評言」をかける上で大切にされていることを教えていただきました。



子どもたちに「評言」をかける上で大切にされていることを教えてください。

今日の授業でも、授業の前半に発表したけど内容は間違っている子がいました。その時にすぐに否定をするのではなく、発表にチャレンジしたことを認めるように心がけました。その時は、再度言い直しをさせたり、修正をしたりすることはなかったのですが、授業の後半に「〇〇ちゃんが発表してくれたから、考えが広がってまとめにたどりつくことができたね」と声をかけました。「間違っただけ」ではなく、その授業の中でフォローするようにしています。子どもたちの立場になって、「発表してよかった」「間違っても大丈夫」など達成感や安心感につながる「評言」を心がけています。



5月28日の授業力向上推進部の活動予定

ひょうげん部

「ふりかえり」について各学級で取り組んだこととの交流、「評言」について、6月の山地先生の授業について話し合います。

「ふりかえり」について資料などがあれば20部ご準備お願いします。(ある人はでいいです)

探究部

6月に行う緑ヶ丘中学校区の研究授業(大屋先生)の授業について、各学年の生活科・総合的な学習の時間の取り組みについて、話し合います。

4年生の防災について、授業のアイデアや実践例などがあれば教えてください。

日記にかきたい



「校内散歩」より

2年生の先生方と田中先生が、「エンドウマメ」の豆をとる体験を子どもたちとしていました。すると写真の子が、「先生、楽しい。このこと早く日記にかきたい」と言っていました。すごいですよね。「日記」、子どもによっては面倒くさく感じたり、難易度の高い表現活動だったりすると思います。それを、「はやく書きたい」とつながることがすごいですよね。

きっと、「エンドウマメ」の豆をとる体験が魅力的だったこと、さらには日頃の日記指導でたくさん認めておられるからこそですね。